

## アキュラホーム、ゴールデンウィーク来場者数が3割アップ！ ～新規オープン7展示場を除いても2割増～

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮沢俊哉）から、ゴールデンウィークの展示場来場者数が好調な結果となりましたので、お知らせします。

### ■既存展示場でも2割の増加に

アキュラホームのゴールデンウィークの展示場来場者数は、前年比32%の増加となりました。4月29日に全国7展示場（※1）が新規オープンしましたが、その来場者数を差し引いても前年比20%の純増になります。また、営業所で見ると、来場者数が前年比で5割以上増加したところもあります。

#### 「前年比の増加率のベスト5」（4月29日～5月8日の前年比）

1. 愛知県豊橋営業所 157.5%
2. 神奈川県戸塚営業所 144.5%
3. 埼玉県草加営業所 139.2%
4. 茨城県つくば営業所 137.8%
5. 埼玉県志木営業所 128.9%

首都圏だけではなく地方各地で実績を伸ばしています。



（上写真：なんば営業所でのゴールデンウィークの様子）

住宅業界では毎年ゴールデンウィーク期間中、一大商戦が展開されます。今年は日銀のマイナス金利導入にともない、住宅ローン金利が大幅に低下しているところから、例年以上の成果が期待されましたが、住宅展示場運営会社などの速報によると、展示場来場者数はほぼ例年並みにとどまったようです。

### ■経営方針が社内外に浸透してきた成果

当社では4月29日よりマイホーム積極応援フェアを開催し、「家事と家計にやさしいー太陽が稼ぐ家PLUS」を期間限定で発売しました。太陽光発電による収入で経済的負担軽減に寄与する「家計“ラク”」、家事効率を高めたり、掃除が楽になるなど家事軽減に寄与する「家事“ラク”」、目先の費用だけでなく将来のメンテナンス費用を大幅に軽減する「メンテナンス“ラク”」の3つの“ラク”で、住む人の家計負担軽減に寄与する住宅として評価をいただき、ゴールデンウィークの来場者数の向上に繋がっているのではないかと考えております。

アキュラホームでは、2014年に「10年ビジョン」を策定、現在はその第一段階としての「3ヵ年計画」の2年目にあたります。新規展示場を次々とオープンしながら各地域への密着度を高める一方、面展開により営業エリアを拡充、知名度の向上や事業の拡大を推進しています。その10年ビジョン、3ヵ年計画に基づいて、住む人の豊かな暮らしを実現するための提案を推進していきます。

#### <本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・西口 Email: [aqura\\_pr@aqura.co.jp](mailto:aqura_pr@aqura.co.jp)

住所：東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F TEL:03-6302-5010（直通） FAX:03-5909-5570

参考 (※1)

## ■ ゴールデンウィークの新規展示場オープン実績 (4月29日同日オープン)

### ・三鷹展示場 (東京都)

フロアレベルや天井高の差で境界線をつくりだし、コンパクトでも圧迫感のない住みごこちの良い家。敷地の狭い都市部でも「住空間」と「暮らし」を豊かにしてくれます。

### ・新百合ヶ丘展示場 (神奈川県)

水回りなどの家事スペースをひとつにまとめて、共働き、子育て中などの忙しい主婦でも家の中が片づき、いつまでもきれいさを維持し、贅沢な暮らしを実感できます。

### ・秦野展示場 (神奈川県)

大開口で開放的な空間づくり。お子さまを見守る動線やスタディコーナーなどを確保。災害時の備えも万全で、子育て世代の安心・安全な暮らしを支えます。

### ・千葉北展示場 (千葉県)

床を下げて段差をつけたピットリビングのある二世帯住宅。家族やご近所とのコミュニケーションもはずみずみ。大屋根全面に太陽光パネルを搭載した地球にやさしい住まいです。

### ・八王子第二展示場 (東京都)

新しい日本の「和み (なごみ)」を目指した「風を感じる住まい」。二世帯住宅を考慮し、ユニバーサルデザイン、ペット共生なども盛り込んでいます。

### ・岡山展示場 (岡山県)

デザインと収納や住みごこちを「高次元で両立」させた、先進のモデルハウスです。

### ・こころ展示場 (広島県)

センターキッチンによるサーキュレーションプランや緩勾配階段などの安全設計取り入、住みごこちと暮らしやすさを両立させた住まいです。